

職場体験 感想文コンクール2025

タイトル	「働く」、てなんだらう	事務局	4 - 1
学校名	酒田市立第四中学校	氏名	熊谷 涼花

皆さんは「働くこと」についてどう思っていますか。生活あるのに必要なお金を稼ぐためや好きなことを仕事にするなどいろいろあるでしょう。私は「大人にならなければいけないことなんだらうな」とそういうこととて片付けておりました。ですが、輝きタイムという実際に働いている方々の貴重なお話を聞いたり体験し、自身の働くことへの考えを改め、将来の夢を広げてくれました。

最初は、プロステージ・シューマンソリューションさんの講話を聞きに行きました。お話しくださった方はとても礼儀正しく姿勢がきれいでした。私もこの方のような素敵な大人になりたいです。

講話は、社会人に大事なマナーや第一印象が与える影響など社会を生きるために必要なスキルや心構えについてでした。礼儀は座っている間も気を抜かれなく、席を立つとき・座るときの方が決まっていたりと身につけるのは大変だと思いました。ですが、やっければ自然に身につけてくるとおっしゃっていたので、これが学校生活でやってみようと思います。

次に、山形県立産業技術短期大学校庄内校さんに向ってきました。自宅や中学校から近くにあるため校舎の外装は見たことがあるのですが、校内には入ることがなかったのでワクワクしました。

案内された場所には机がたくさん並んであり、その上にはゲーミングPCのようなものがありました。私はタブレット端末やノートパソコンしか使ったことがなく、「こんなものもあるのか」と少し目眩していました。

ここでは、生成AIについて学びました。配布された資料にはイラストや実際のAIイラストなどが使われていて、理解しながら拝聴できました。実際にAIを使い、イラストの生成や認識・判断させたりしました。使ってみて、高クオリティのイラストを短時間で生成できる反面、思った通りのものはできなかつたり、「100%これだ」とは認識させられませんでした。

今では多用されているAIですが、前述のこや誤った情報を出かしてしまうハル

シネーションなど「デメリットがありました。ですが」それをより良くしようとしてくれる人がいるため進化しているのだらうと思いました。そのおかげで「文章を書くときに不自然な日本語にならないようにしたり、話した英語を即自に翻訳したりと誰かの役に立っています。私も人のため世のためになるようなことをやりたいです。

最後は、Add Willさんに行、てきました。会社に入ると一見普通のオフィスなのですが、少し進むとログハウスのようになっていて「こんな会社で働けたらおもしろいならうな」と思いました。

貴社では、プロジェクトマッピング・ライトアップを使ったイベントをやっており、創作歌舞伎とのコラボや謎解きイベントを開催しているそうです。私は去年そのイベントに行、てきたら、長蛇の列をなして驚きました。それほど魅力的なことをや、ているということですね。

講話では、起業の楽しさや社長・社員のこれまでの経歴などを話してくださいました。お世話になった東北に恩返しをするために起業をしたり、他の仕事をかけ持ちしながら働く原動力に驚き、憧れを抱きました。

これまでの講話を聞いて「働くこと」について自分なりに考えてみました。働くことは、「大変なことも多々あるが、誰かの役に立、たり自分のやりたいことを実現できて案外楽しいもの」と考えました。楽なものとは言えないけど、やりがいがあるし何かと役に立、たりすると思いました。

私には、本当にやりたいこと・やりたい職業はわかりませんが、いろいろなことに挑戦したり講話で聞いたことを実際にや、ってみたり思、い出しながら追、窮していきたいと思います。